

“情報の科学と技術”の表紙右肩に「ISSN 0913-3801」というコードが付与されている。国際的に登録された ISSN コードは、これだけで世界のどこでも逐次刊行物の同定ができ、書誌情報の国際的な流通に多大の貢献をはたしている。

そもそも、1967年に開催された Unesco 総会での決議によって発足した UNISIST (世界科学情報システム) 計画の一環として生まれ、当初は International Serials Data System (ISDS) と称した。基本的骨組みは 1975 年に制定された ISO 3297 Information and documentation - International Standard Serial Number (ISSN) (1986年、1998年の改正を経て、現在は4版:2007)に、その日本語版は JIS X 0306:1988 (4版に対応する改定版の原案作成は完了)に収録された。

ISO 規格が指定する国際登録センター (registration authority) はパリに所在する ISSN International Centre で、そのネットワークに参加する国は 88 (2012年1月現在)、日本センターは 1976 年以来、国立国会図書館 (NDL) に設置されている。国際センターが作成するデータベース (ISSN Portal, <http://portal.issn.org>) の利用は有料だが、日本センターが付与したものについては NDL のホームページ経由で検索できる。

発足当初、ISSN 付与の対象となるのは印刷版の逐次刊行物に限られていたが、現在では継続性をもつすべての刊行物に拡大されている。逐次刊行物の標題 (いわゆる full title, ISSN ではラテン文字表記 (日本語の場合はヘボン式) を key title と称する)、媒体 (印刷版、CD-ROM, オンラインなど) の一方でも変われば、ISSN も変わる。廃刊になっても別の逐次刊行物に再度使用されることはない。

ISSN は 7 桁の数字にチェック数字 (または X) を加えた 8 桁で構成され、4 桁ずつをハイフンでつなぐ。数字に特別の意味づけはない。2010 年末現在で国際センターへの登録数は 1,555,307 件、そのうち日本センターでの登録数は 38,015 件である。

媒体が異なれば別の ISSN が付与されるから、同一内容のものが CD-ROM, オンラインなどでも提供される場合には異なる ISSN が付与されてきた。しかし、媒体の相違だけで異なる ISSN をもつことの不便さが指摘され、従来の ISSN に加えて Linking ISSN (ISSN-L) を付与する制度が提案され、これが ISO 規格の改正 (ISO 3297:2007) につながった。付与の実例を以下に示す。

ISSN は逐次刊行物の発行者が登録を申請することによって付与されるものであり、強制ではない。したがって、発行者が当該刊行物の流通をどの程度認識しているかにかかっている。実例をあげよう。

国立国会図書館月報 (印刷版) ISSN 0027-9153  
ISSN-L 0027-9153

国立国会図書館月報 (オンライン版) ISSN 1349-3027  
ISSN-L 0027-9153

出版月報 月刊誌だが、ISSN は付与されていない  
外国の立法 (印刷版) ISSN 0433-096X

ISSN-L 0433-096X

外国の立法 (オンライン版) ISSN 1349-2071

ISSN-L 0433-096X

季刊誌だが、各号に ISBN も付与されている  
出版研究 年刊誌だが、各号に ISBN だけが付与されている

ISSN は国際的な流通を意識しているから、学術雑誌への付与が多いのは必然的結果である。利用者の立場からすれば、まぎらわしい標題をもつ刊行物やなじみの薄い刊行物の同定に役立つ。検索のキーワードとして ISSN を利用すれば、当該誌の書誌的データを確実に入手できる。日本の刊行物の場合には、NDL がオンラインで提供している「NDL-OPAC」および「ISSN 登録国内刊行オンラインジャーナルリスト」を利用すればよい。外国の刊行物の場合には、各国の国立図書館の OPAC にアプローチすればよい。“Ulrich’s Periodicals Directory” (年刊) には ISSN 順の索引がついているから、ISSN で当該刊行物の書誌情報を入手することができる。なじみの薄い言語で書かれた標題の場合には、ISSN は当該誌にたどりつくキーワードとなる。

Ulrich で検索すれば、誌名 (ラテン文字表記)、英文誌名、オンライン版の ISSN、以前の誌名、使われている言語、創刊年、刊行頻度、購読料、掲載記事の種別、掲載記事の抄録を収載する抄録誌などの情報がえられる。

ISSN の現状については、下記の機関のホームページで知ることができる。

日本センター, <http://www.ndl.go.jp/aboutus/issn.html>  
国際センター, <http://www.issn.org>

参考資料：小山順一郎. 情報管理. 2007, vol.50, no.3, p.144-154.  
国立国会図書館月報. 2011, no.699, p.22-23.

情報管理 (印刷版) ISSN 0021-7298  
ISSN-L 0021-7298  
情報管理 (オンライン版) ISSN 1347-1597  
ISSN-L 0021-7298

(太田泰弘)